

周産期センター（新生児科）

(1) 一般目標(GIO)

- ① 厚生労働省卒後臨床研修目標の達成に努める。
- ② 周産期センターにおいて診療を行うに研修医として必要な基本的知識と技術を習得し、その診療態度を身につける。

(2) 行動目標

- ① 医師としての自覚、患者やスタッフに対する基本的な態度、マナーを身に付ける。
- ② 良好な医師患者関係を確立する。
- ③ NICUの医療は、多数のスタッフ、コメディカル、他科ドクターの協力により成り立っており、チーム医療の重要性を理解し、行動する力を身に付ける。
- ④ 適切に周産期情報を聴取し、基本的な理学所見を得ることができ、ベッドサイドでの検査を実施することが出来る。
- ⑤ 周産期情報、理学所見、各種検査から、問題点を整理し、抽出し、その解決に必要な診断・治療・教育計画を立案でき、記録できる。さらにその結果について理解し、説明ができる。
- ⑥ 症例のプレゼンテーションができる。
- ⑦ NICUにおける、基本的医療技術について理解し、施行・介助ができる。
- ⑧ 周産期医療における一般的な疾患について理解し、診断、治療が施行できる。

(3) 研修スケジュール

新生児科研修は、産科研修期間において研修を行う。当センターは地域周産期母子医療センターに認定されており、多数の母体搬送、新生児搬送入院があり、多彩な症例を数多く経験することができる。指導医のもと、分娩室・手術室で新生児心肺蘇生、採血、超音波検査、点滴手技等の処置を行い、周産期医療技術について学ぶ。NICUでは多数のME機器があり、機器についての理解、評価、操作技術を学ぶ。当直研修では、夜間のNICU入院児の評価ならびに緊急入院に対応していく。また当科では、週1回宮崎大学医学部産婦人科教室とTVモニターカンファレンスを開催しており、周産期に関する知識向上の場となっている。

当科は日本周産期新生児医学会暫定研修施設（新生児科）であり、新生児専門医を目指す医師にも指導を行っている。